

令和3年度第1回奈良県教育サミット

日時 令和4年1月28日(金)
13:30~15:00
場所 奈良県コンベンションセンター
コンベンションホールC

[次 第]

1 開 会

2 資料説明

- 1) ポストコロナ期の新たな学びの在り方について
 - (1) 教育DXの推進によるSTEAM教育について (県教育長)
 - (2) 対話型授業の事例発表 (県立青翔中学校・高等学校長)

- 2) スーパーシティ構想における教育振興について (文化・教育・くらし創造部長)

3 質疑応答

4 総 括

5 閉 会

☆配付資料

- 資料1 教育DXの推進によるSTEAM教育について
- 資料2 ICTを活用した授業実践について
- 資料3 大和平野中央プロジェクトからスーパーシティ構想へ
(R3.11.5開催：大和平野中央スーパーシティ構想コンソーシアムキックオフ会議資料)

ポストコロナ期の新たな学びの在り方について

教育DXの推進によるSTEAM教育について



1 はじめに ～令和3年度全国学力・学習状況調査における質問紙調査からみる本県教育の状況について～

学校質問紙調査（中学校）

【新型コロナウイルス感染症の影響に関する項目】

学校の全部を休業していた期間中、 家庭学習としてどのようなものを課していましたか。 （肯定的回答の割合）	奈良	全国
学校が作成した 学習動画等 を活用した学習	49.0	26.7
同時双方向型オンライン 指導を通じた学習	22.0	7.4

【ICTを活用した学習に関する項目】

次のようなコンピュータ等の ICT機器を活用した取組 をどの程度行っていますか。（肯定的回答の割合）	奈良	全国
教職員と生徒 がやりとりする場面	56.0	41.5
生徒が一人 で活用する場面	68.0	62.6

学校でのICTの活用は進んできている。

生徒質問紙調査（中学3年生）

【自己肯定感や学習に取り組む態度等に関する項目】

質問項目（肯定的回答の割合）	奈良	全国
自分には、 よいところがある と思いますか	71.6	76.2
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦 していますか	61.4	65.9

質問項目（肯定的回答の割合）	奈良	全国
1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、 自分で考え、自分から取り組んで いましたか	76.4	81.0
学級の生徒との間で 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたり することができていますか	67.3	77.8

子どもの自己肯定感等に課題が見られる。

ポストコロナ期の新たな学びの方向性

ICT教育の更なる推進

現代社会に求められる資質・能力の育成

2 教育DXの推進によるSTEAM教育について

I C T 教育の更なる推進

学 校 の デ ジ タ ル 化 ・ ク ラ ウ ド 化

遠隔・オンライン教育
の推進

CBT (Computer Based Testing)
の活用の推進

社会で求められる資質・能力の育成

自ら考え、探究するといった「学ぶ力」

自己肯定感やコミュニケーション力等の「生きる力」

教育データ等のデジタル化や校務のICT化

教科等の枠にとらわれないカリキュラム

教 育 D X の 推 進

S T E A M 教 育 の 実 施

子どもの学び方の刷新

「学ぶ力」「生きる力」を育む「本人のための教育」の推進

STEAM教育

各教科等の枠にとらわれず現代社会で求められる力を身に付ける教育

Science (科学)

Technology (テクノロジー)

Engineering (工学)

Arts (Liberal Arts) (芸術や人文科学)

Mathematics (数学)

各教科等で身に付けた資質・能力を生かした探究的な学習活動の充実

教科等横断的な視点に
立った教育課程

課題解決学習を中心とした
学び

教科等横断的な視点に立った教育課程の編成

○「カリキュラム・マネジメント」の充実

「総合的な学習の時間」を核として、「国語」、「数学」などの教科の枠組みを超え、自ら考え、探究する力である「**学ぶ力**」を育む

○「柔軟な教育課程」の編成

STEAM教育で育成を目指す資質・能力や探究的な学習活動の充実

課題解決学習を中心とした学び

○「対話型授業」への質的転換

多様な価値観をもつ他者との対話を通して、新たな学びを生み出す授業へと質的転換を図り、「**生きる力**」を育む授業を実施

○「知的好奇心や探究心を引き出す授業」の推進

スタディ・ログ等を教員の指導や子どもの学習に活用

S T E A M 教 育 の 推 進

子どもが、現実の社会と自分との関わりの中から課題を見いだすことが必要



SDGsなどの社会的な課題等についての先進的な取組についての学びが不可欠



大学・企業・地域との連携

SDGsなどの社会的な課題や現在行われている取組について学ぶ機会の充実を図る

S T E A M 教 育 の 推 進

教科等横断的な視点に立った教育課程の編成



「カリキュラム・マネジメント」の充実
「柔軟な教育課程」の編成

「**学ぶ力**」を育む教育課程

「**本人のための教育**」の推進

課題解決学習を中心とした学び



「対話型授業」への質的転換
「知的好奇心や探究心を引き出す授業」の推進

「**生きる力**」を育む授業

大学・企業・地域との連携

対話型授業の事例発表

ICTを活用した 授業実践について



奈良県立青翔中学校・高等学校

青翔中学校・高等学校について

全国初理数科単科高等学校
奈良県立初併設型中高一貫教育校



青翔中学校・高等学校について

学校の所在地

御所市にあります



青翔中学校・高等学校について

開校のコンセプト(ミッション)

奈良県中南部地域の
理系進学拠点校



青翔中学校・高等学校について

学校の沿革

平成16年 全国初の理数科単科高校として開校
平成26年 併設中学が開校 第1期生40名入学
平成29年 高等学校の募集停止
この年より第4期生80名(2クラス)入学
令和3年 中学校6クラス・高校5クラス 計11クラス
令和4年 中学・高校全て各学年2クラス 計12クラス

青翔中学校・高等学校について

文部科学省から
SSH校に指定されて11年目

第1期 H23~H27(5年間)

第2期 H28~R2(5年間)

第3期 R3~R7

今年度より第3期目がスタート

青翔中学校・高等学校について
進路実績(R3.3卒業生31名)

《国公立大》

京都大1、大阪大2、神戸大2、
北海道大1、広島大、岡山大1、
三重大1、愛媛大(医)1、和歌山大
2、京都工繊大1、北見工業大1、
兵庫県立大1、奈良県立大1

ICTを活用した授業例①

高校1年理科(生物基礎) [約5分]

Google Jamboard

Google form

青翔中学校・高等学校について
進路実績(R3.3卒業生31名)

《私立大》

同志社大、関西大、関西学院大、
近畿大、京都産業大、龍谷大、
甲南大、畿央大、天理大、摂南大
他

Google Jamboard とは

電子ホワイトボード

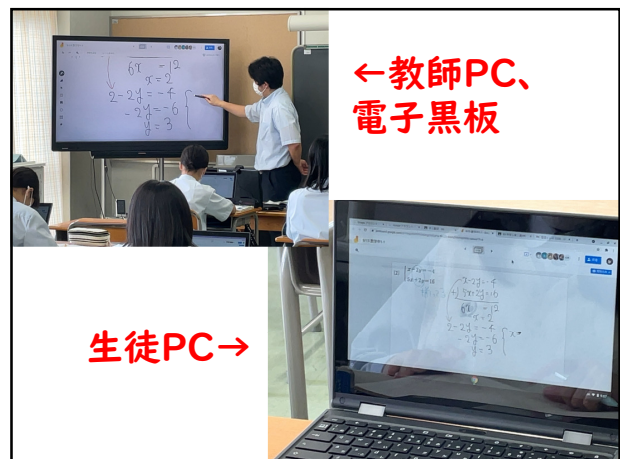
生徒側PCにも教師側PCにも
あり、内容が共有される

★双方向 ★対話型

青翔中学校・高等学校で
今年度から特に力を入れている点

☆「主体的・対話的で深い学び」の視点からの
授業改善

☆一人一台PCを見据えた
授業改善



Google form とは フォーム作成ツール

(例) アンケート作成
→ 小テスト、振り返り

生徒の個々PCの内容を
教師は瞬時に集計できる

★双方向 ★対話型

ICTを活用した授業例②③

中学1年数学 [約6分]

② **Geogebra**を使った授業
Google form で振り返り

③ **Jamboard**を使った授業

Google form の例

授業の振り返りをさせる

①過去と現在を考慮して、今後日本のバイオームはどのように変化する可能性があるか。 *

回答を入力

②日本において同一県内の標高が異なることでバイオームにはどのような変化がみられるか。 *

回答を入力

③この授業で自身の学びは深まりましたか。当てはまるものにチェックしてください。(1:とてもそう思う、2:そう思う、3:あまりそう思わない、4:そう思わない) *

とてもそう思う ○ ○ ○ ○ そう思わない

← 生徒PC
の画面



暖かさの指数を題材に、対話的に学ぶことから
自己の成長を認識する取組とICT活用

奈良県立青翔高等学校 教諭: 中井秀輔

ICTを活用した授業

まだまだ模索中だが・・・
今まで以上に**対話的**な授業を!

ICTを活用することで
生徒と教師との対話
生徒どおしの対話
をよりスムーズに

大和平野中央プロジェクトからスーパーシティ構想へ

大和平野中央スーパーシティ構想 コンソーシアム キックオフ会議

令和3年11月5日
奈良県



はじめに

奈良県では、県立大学工学系第2学部の設置と10年後の国体開催のためのスポーツ施設の建設を軸に、大和平野中央プロジェクトを進めてきました。

一方、国の方でスーパーシティ構想を打ち上げられ、その指向されるところは、奈良県の大和平野中央プロジェクトの目指す目標と一致するところが多いものと見受けられました。そこで、奈良県のプロジェクトをスーパーシティ構想と同じ方向に舵を切ることとしました。

このようなプロジェクトは、多くの先行事例から学び、民間企業や中央官庁の智恵をいただくことが有益です。そのため、多くの智恵袋のご参画がいただけるコンソーシアム方式の検討会を開催することといたしました。

何卒、よい智恵を授けていただきますようによろしく願いいたします。

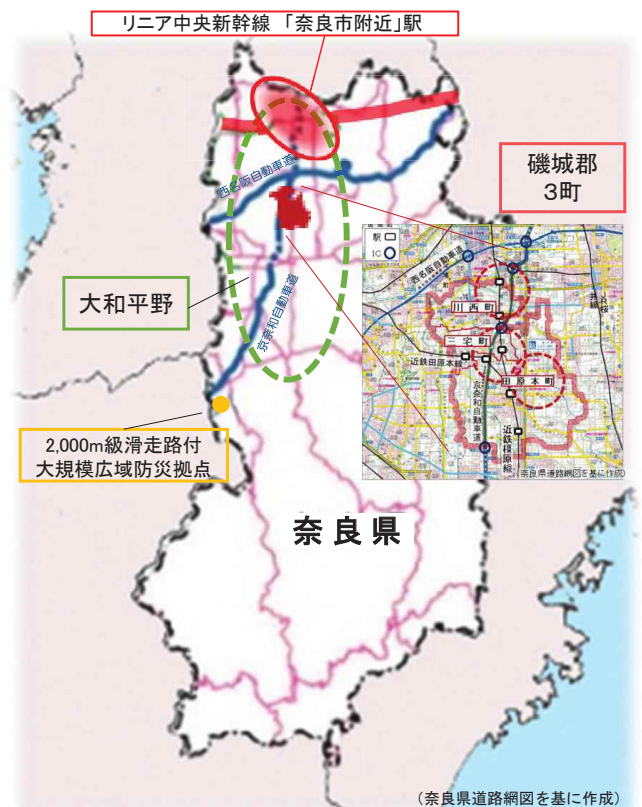
目 次

I 大和平野中央プロジェクトとは	4
1. 大和平野中央プロジェクトの対象地域	4
2. 大和平野中央プロジェクトの背景と経緯	5
II 大和平野中央プロジェクト スーパーシティ構想へ	6
1. 国のスーパーシティ構想への参加に向けた検討会	6
2. 大和平野中央地域周辺の県事業との連携	7
3. 大和平野中央スーパーシティ構想に盛り込むテーマ候補	8
III 大和平野中央スーパーシティ構想のテーマごとの検討課題	9
1. 県立大学工学系第2学部の設置とスタートアップヴィレッジ	9
2. 大和平野地域雇用戦略の実行	14
3. 就学前教育 ～就学前児童のこころと身体のはぐくみ～	17
4. リカレント教育	22
5. 新しいスポーツ施設の整備とウェルネスタウンの建設	24
6. 医療、地域包括ケア、健康増進、社会福祉の一体的推進	31
7. 田園都市建設構想の実現	38
8. 地域内移動の円滑化	42
9. 安全・安心まちづくり	48
10. 農業の省力化、効率化、高度化	52
11. 大和平野シュタットベルケ構想（エネルギー脱炭素への挑戦）	53
12. 大和平野中央デジタル化の推進	54
13. 行政運営効率化と地方政治の見える化	57
14. 周辺県施設の整備運営との連携	58
15. 推進組織の構築（PPPの実行）	62

I 大和平野中央プロジェクトとは

1. 大和平野中央プロジェクトの対象地域

- 奈良県の面積3,690.94km²の**7割が森林地帯**であり、また、県土の約78%、約2,899km²を占める南部・東部地域はほとんどが森林。
- 県北西部に位置する大和平野は、総面積が約300km²の**県内唯一の平地**であるが、大和平野地域には**県総人口約131万人の約9割、約121万人が居住**。
- 大和平野中央プロジェクトが対象とする磯城郡3町（川西町・三宅町・田原本町）は、**大和平野の中心部に位置**し、人口約4万5,000人が居住する面積約31km²の地域。
- 同地域は、大和平野を流れる大和川本川の南にあり、総面積約31km²のうち、農地約15km²（約48.4%）、住宅地約5km²（約16.1%）、商業・工業地約2m²（約6.5%）、公共用地その他約9km²（約29.0%）となっている**農業中心の地域**。
- 近年、周辺に高速道路（京奈和自動車道、西名阪自動車道）や主要道路（大和中央道）が整備され、**交通利便性が著しく向上**。
- また、リニア中央新幹線の「奈良市附近」駅設置により広域アクセスの向上が期待されるほか、当地域から京奈和自動車道沿いの南方30kmの五條市に2,000m級滑走路付大規模広域防災拠点の整備を進めている。



(奈良県道路網図を基に作成)

I 大和平野中央プロジェクトとは

2. 大和平野中央プロジェクトの背景と経緯

(1) 事業の背景

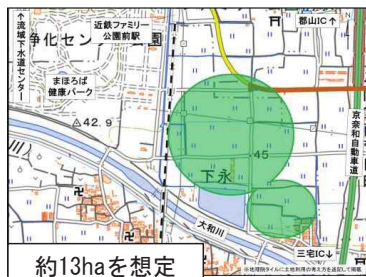
- ・ 奈良県は、そのベッドタウンとしての地域の性格から、若者の県内雇用、就学の機会が充分でなく、近年若者を中心とした人口減少が著しく、「**多様な雇用の場の創出**」が最重要課題。
- ・ 農業中心の当地では、農業の後継者難から潜在的なものも含めて耕作放棄が顕著になってきており、「**農地とまちづくりの調和と共生**」が喫緊の課題。

(2) 経緯

- ・ 令和2年10月
磯城郡3町（川西町、三宅町、田原本町）と地域活性化に寄与する**拠点施設の整備**について協議を開始する「**覚書**」を締結。
- ・ 令和3年5月
磯城郡3町と個別に「まちづくりのテーマ」と「対象地区」を決定する「**協定書**」を締結。

テーマ	対象地区
・ まほろば健康パークと連携した ウェルネスタウン （健康増進）	川西町下永地区
・ 県立大学工学系学部を核とした スタートアップヴィレッジ （産業の活性化）	三宅町石見地区
・ スポーツ施設を核とした ウェルネスタウン （健康増進）	田原本町阪手北・西井上地区

川西町 下永地区



三宅町 石見地区



田原本町 阪手北・西井上地区



5

II 大和平野中央プロジェクト スーパーシティ構想へ

3. 大和平野中央スーパーシティ構想に盛り込むテーマ候補

A. 知的な大和平野の創造

1. 県立大学工学系第2学部の設置とスタートアップヴィレッジ
2. 大和平野地域雇用戦略の実行
3. 就学前教育 ～就学前児童のこころと身体のはぐくみ～
4. 地域のリカレント教育

B. 健康長寿の大和平野創造

5. 新しいスポーツ施設の整備とウェルネスタウンの建設
6. 医療、地域包括ケア、健康増進、社会福祉の一体的推進

C. 大和平野田園都市の建設

7. 田園都市建設構想の実現
8. 地域内移動の円滑化

9. 安全・安心まちづくり

10. 農業の省力化、効率化、高度化

D. 脱炭素社会への挑戦

11. 大和平野シュタットベルケ構想（エネルギー脱炭素への挑戦）

E. デジタル社会の構築

12. 大和平野中央デジタル化の推進

13. 行政運営効率化と地方政治の見える化

F. 推進体制の整備

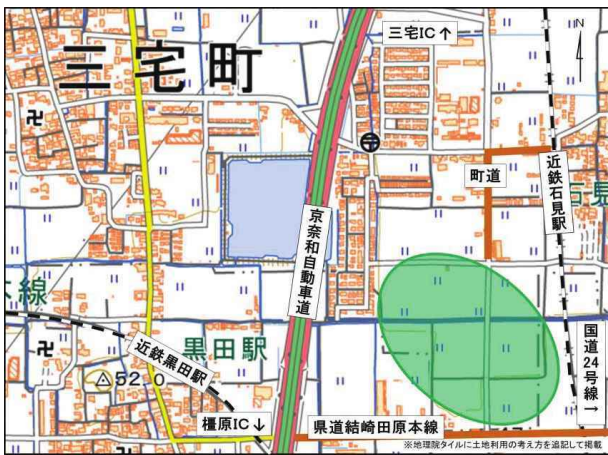
14. 周辺県施設の整備運営との連携

15. 推進組織の構築（PPPの実行）

6

テーマ1. 県立大学工学系第2学部の設置とスタートアップヴィレッジ

1 新学部の位置(三宅町石見地区)



2 背景

●若者の流出

- ・県内における**若年層の人口流出** (全国最下位※1)
- ・県内高校卒業者の大学進学率は高い (全国7位※2) にも関わらず、84% (※3) が**県外の大学へ進学** 特に工学部は県内の大学にない状況

●デジタル人材のニーズ

- ・日本全体では、2030年に先端IT人材(AIやIoTの専門家)が**約27万人不足**
2019年 IT人材需給に関する調査 (経済産業省) における試算
- ・県内産業界におけるデジタル系の技術人材に対するニーズの高まり
2020年 企業立地推進課・産業振興総合センターヒアリング調査

※1 20~29歳の転入超過率

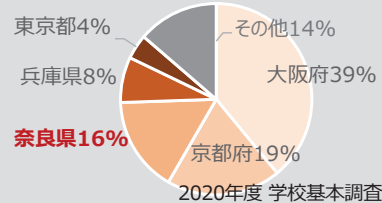
1位	東京都	5.39%
2位	神奈川県	1.67%
⋮		
46位	青森県	▲3.42%
47位	奈良県	▲3.46%

2019年 住民基本台帳人口移動報告(総務省)、住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(総務省)により教育振興課で作成

※2 大学進学率

奈良県59.9%
全国平均55.8%

※3 県内高卒者の大学進学先



テーマ1. 県立大学工学系第2学部の設置とスタートアップヴィレッジ

3 県立大学工学系第2学部の概要

■新学部の内容

奈良県立大学に**情報工学系**(コンピュータ理論、AI、IoT、ロボット、データサイエンス、情報セキュリティ等)の新学部を創設する



■目指す人材像

幅広い教養の知識を基礎に、**科学的・論理的思考に習熟し、高度なデジタルスキル**によって、現場での**課題を解決**できる**地域リーダー**を育てる

(例)

- ・ビッグデータの解析により、新たなサービスや商品の開発提案ができる人材
 - ・道路環境のIoT化により、事故や渋滞を防ぐシステムを構築できる人材
 - ・文化財のVR復元により、古都奈良の魅力を国際的に発信できる人材
- など



学 部	工学部(仮)	地域創造学部
入学定員	100名	150名
収容人数	400名	600名
キャンパス	三宅町石見	奈良市船橋町
敷地面積	約4.5ha (予定)	約2.6ha
開学時期	令和13年 (予定)	-



Ⅲ 大和平野中央スーパーシティ構想のテーマごとの検討課題

テーマ1. 県立大学工学系第2学部の設置とスタートアップヴィレッジ

4 県立大学の新たな目標

県立大学においては、**人生100年時代**や技術革新の進展等を見据え、**従来の大学＝若者の教育機関**という役割に加え、**誰もが生涯学び続けることができる社会人の学び直しのための教育機関**としての役割も担いたい

1 Point

未来志向の教育環境

- 教員と学生同士の討論を基本とした**少人数対話型教育**と**クォーター制**による集中的な学習により、**科学的論理的思考力を育成**
- **対面とオンライン授業**を組み合わせた**ハイブリット方式**を採用
- 地域貢献につながるフィールドワークや実証実験を展開

2 Point

多様な教員体制

- 情報工学の教員に加え、**ビジネススクール**の教員など**少人数対話型教育**を支える講師を確保。複数教員によるチームで授業を行う**TT（チームティーチング）**により、多様な学びを実現。
- 教員のリモートワークや副業、外国人講師の日本の年金保険料免除等を可能とすることにより、**国内外の多様な人材**を確保

3 Point

柔軟な単位・学位設計

- 地域創造学部と新学部の**複数専攻（ダブルメジャー）**や**複数学位（ダブルディグリー）**を検討
- 全国の公立大学や県内理工系国公立大学等との連携による**単位互換制度**

4 Point

幼小中高大連携

- 県立大学附属高校生等が、大学の授業やゼミ活動等に参加し、**単位取得する早期履修制度**を導入
- 早期履修制度の活用により、**大学を早期卒業**した学生を対象に、**インターンシップ**や**海外留学**などの機会を提供
- 地域の小中学校等との交流により、特色ある**STEAM教育**を展開

5 Point

学びと職との円滑な接続

- **有給の中長期実践型インターンシップ**や大学発ベンチャー支援など、実社会教育の展開により、県内企業等への**円滑な就業や起業を促進**

6 Point

社会人の学び直しの推進

- 社会人の**キャリアアップ・チェンジ**等のための**リカレント教育**を実施
- 地元企業等のニーズに応じた**オーダーメイド型のPBL（課題解決型学習）**プログラムを共同開発
- 社会人向けのカリキュラムを備えた大学院の設置も視野に検討

9

Ⅲ 大和平野中央スーパーシティ構想のテーマごとの検討課題

テーマ1. 県立大学工学系第2学部の設置とスタートアップヴィレッジ

5 スタートアップヴィレッジの建設

県立大学に新たに設置する工学系第2学部を核に、研究機関、起業・創業支援機関、就業支援機関、人材開発機関など集積させ、スタートアップ支援拠点を形成する。



それぞれの機関は、新規の組織・施設の設置もあり得るが、既存の機関の共同サテライトオフィスの設置、DXを活用したサテライト機能を展開していただくことも可能

10

Ⅲ 大和平野中央スーパーシティ構想のテーマごとの検討課題

テーマ1. 県立大学工学系第2学部の設置とスタートアップヴィレッジ

6 知的交流拠点の設置

スタートアップヴィレッジにおいては、村人(大学、研究機関等々)や訪問者の知的交流を可能とする交流拠点を設置

■ 知的交流拠点のイメージ図



交流サロン



オープンカフェ



レストラン



前庭

まち中交流拠点も活用

■ 知的交流拠点の機能

- 知的来訪者を交えた常時交流機会の創出
- 著名人との交流、勉強会
- 産学官交流イベント
- 起業セミナーの開催
- テーマを設定した研究会、企業間交流会

等

11

Ⅲ 大和平野中央スーパーシティ構想のテーマごとの検討課題

テーマ3. 就学前教育の充実 ～就学前児童のこころと身体のはぐくみ～

就学前児童のはぐくみを一体的に行い、放課後児童クラブを充実し、こども食堂を豊かにすることによって、就学前児童のこころと身体のはぐくみを充実したものにします。

1 3町において就学前児童のはぐくみを一体的に行う

(1) 「はぐくみ園」による幼保一体化

- 大和平野中央版「就学前はぐくみ要綱」(県・3町合同教育振興大綱)の策定
- 3町内の就学前教育施設を「はぐくみ園」とし幼保一体化
 - ・保育認定(保護者の就労等が要件)の有無にかかわらず、希望する0～2歳児を入所対象
 - ・併せて保育料無償化の適用範囲を拡大(現在の対象は、3～5歳児及び低所得世帯の0～2歳児)
- 待機児童を発生させない広域保育
 - ・3町間における保育の広域利用調整
- 3歳以上児の「無園児」(保育所・幼稚園に通っていないいわゆる「未所属児童」)を無くす
- オンラインを活用した最先端の就学前教育の実践
 - ・タブレット機器を活用した様々な遊びや学び合い



(2) 0歳児からの就学前教育の実践(ミエリネーションにより、神経と筋肉の発達を促す)

- 「奈良県版就学前教育プログラム・はばたくなら」の実践
 - ・音楽・芸術、スポーツ等を通じた非認知能力のはぐくみの重点実施
- 自然保育の推進
 - ・自然あふれる園庭の整備、園外の自然フィールドを活用した自然体験活動

12

Ⅲ 大和平野中央スーパーシティ構想のテーマごとの検討課題

テーマ3. 就学前教育の充実 ～就学前児童のこころと身体のはぐくみ～

(3) インクルーシブ保育(特別な支援を要する子どものはぐくみ)

➤ インクルーシブ保育の実践

- ・園庭にインクルーシブ遊具(車椅子の障害児がともに遊べる砂場等)を設置する等の環境整備
- ・障害児支援機関と連携した発達支援プログラムの実施

➤ 病児保育の3町共同実施

➤ 医療的ケア児の広域保育

- ・3町間における医療的ケア児の保育の広域利用調整
- ・医療的ケアができる補助者の養成・派遣



(4) 地域に開かれた子育て支援の拠点づくり

➤ 親子になじみのある身近な就学前教育施設におけるすべての子育て家庭を対象とした子育て支援

- ・ケアマネージャー子育て版「はぐくみマネージャー」の配置(子育て支援サービスの利用をコーディネート)
- ・全施設での一時預かり

➤ 子育てシェアリングエコノミーの活動を支援

- ・地域で一時保育や送迎、家事などをシェア

(5) 質の高いきめ細かな保育・就学前教育を推進するための体制の充実

➤ 保育人材の確保

- ・保育士養成校との協定締結に基づくインターンシップ
- ・3町間における保育士の子どもの保育の優先利用広域調整

➤ 質の高い保育人材の育成

- ・保育士養成校との協定締結に基づく潜在保育士のリカレント教育
- ・3町エリア内での保育士の人事交流

➤ 手厚い職員配置

- ・保育士の配置基準の改善

➤ 保育士等の処遇改善

- ・キャリアアップ研修受講者への更なる賃金上乘せ

➤ ロボット・AI・ICTを活用した保育現場の働き方改革

- ・ICT等導入による保育(見守りロボットが就寝中の子どもの呼吸チェック等)、事務の効率化

13

Ⅲ 大和平野中央スーパーシティ構想のテーマごとの検討課題

テーマ3. 就学前教育の充実 ～就学前児童のこころと身体のはぐくみ～

2 放課後児童対策 ～放課後児童クラブを「預かり」から「はぐくみ」の場へ～

(1) すべての小学生のはぐくみ

- すべての小学生の豊かなはぐくみを推進するため、親の就労の有無に関わらず、放課後児童クラブの利用を希望する児童を受入れ

(R3年度 放課後児童クラブ利用率 小学校低学年児童の約4割)

(2) 放課後のはぐくみプログラム

➤ 多様な体験、遊び、交流活動等魅力的なプログラムの実施

- ・住民やNPO等地域の多様な主体がプログラムに参画(ダンス教室、スポーツ教室、音楽・芸術教室、地場産業・地元企業のしごと体験、プログラミング教室、臨時のプレイパークの設置 等)
- ・保護者もボランティアとして参画できるしくみを工夫

➤ 「まち」全体を放課後のはぐくみの場に

- ・放課後児童クラブを拠点としつつ、3町の様々な施設等を活動場所として活用
公園、スポーツ施設、企業、図書館、道路(歩行者天国)、休耕田 等

14

Ⅲ 大和平野中央スーパーシティ構想のテーマごとの検討課題

テーマ3. 就学前教育の充実 ～就学前児童のこころと身体のはぐくみ～

(3) インクルーシブ学童保育(特別な支援を要する子どものはぐくみ)

- 放課後等デイサービス(障害児の放課後の預かり)等、障害児支援サービスと連携したインクルーシブ学童保育の実践
 - ・放課後児童クラブにおける障害児との交流・遊び等
 - ・発達障害児等の専門職のクラブへの巡回派遣
 - ・障害児受入れ加算の拡大

(4) 質の高いきめ細かな放課後のはぐくみを推進するための体制の充実

- 支援員の確保・定着支援
 - ・支援員の安定雇用とキャリアパスの構築支援
 - ・支援員の資質向上研修の充実
 - ・キャリアアップ処遇改善の充実
- 手厚い支援員の配置
 - ・支援員の配置基準の改善
 - ・障害児、医療的ケア児を受入れるための支援員の加配
- ICTを活用した学童保育現場の働き方改革
 - ・ICT等導入による事務効率化

15

Ⅲ 大和平野中央スーパーシティ構想のテーマごとの検討課題

テーマ3. 就学前教育の充実 ～就学前児童のこころと身体のはぐくみ～

3 こども食堂 ～安心・安全で楽しく過ごせるこども食堂～

(1) 各小学校区に常設こども食堂を開設

- NPO等が地域の多様な人と連携して各小学校区に開設できるよう支援
 - ・活動の場として公共施設(公民館等)を提供
 - ・活動の担い手育成講座の開催
- 安心・安全のこども食堂の認証
 - ・衛生対策や適切な食材管理等、親子が安心して利用できるこども食堂の運営のために必要な経費を補助



(2) 食材・食品の安定供給

- 地域から提供される食材等を集積する拠点設置
 - ・食材等を受け入れ、配送まで保管する倉庫の設置
- 連携協定締結企業との協働
 - ・運送業務を行っている企業によるこども食堂への食材配送

(3) こども食堂の多機能化

- 「地域まるごとこども食堂」
 - ・地域の誰もが参加できる地域交流・多世代交流の拠点化
- 「はぐくみのこども食堂」
 - ・スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、学生、教員OB等福祉・教育の関係者が参画
 - ・子どもの学習支援
 - ・困りごとを見逃さず、解決する機関につなぐ
 - ・困窮家庭に食材や生活必需品を配付



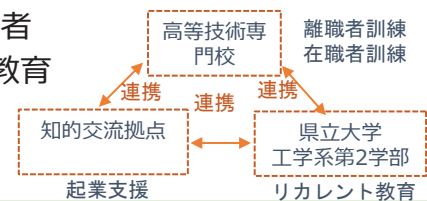
16

テーマ4. 地域のリカレント教育

県立大学工学系第2学部の設置を機に、交流の深まりが期待される知的人材を活用して、**県内の若者、女性、中高年齢層、外国人などを対象**としたリカレント教育を実践する

1 県立大学を中心としたリカレント教育の実践

- **県立大学において**、時代や企業のニーズに合った実践的なリカレント教育プログラムを開発・実施
 - ▶ 地元企業等の社会人や若者・女性、社会に貢献したいシニア層のキャリアアップ・キャリアチェンジ等のために、**社会人入学枠、科目等履修生、出前講座等**のリカレント教育を実施
 - ▶ 地元企業や産業界のニーズに応じた**オーダーメイド型のPBL（課題解決型学習）リカレントプログラム**を共同開発
 - ▶ **社会人向けのカリキュラムを備えた大学院**の設置も視野に検討
- **高等技術専門学校**において、若者、女性、外国人、再就職希望者等を対象としたスキルアップ訓練を実施
- **知的交流拠点において**、起業家をはじめとするスタートアップ関係者を活用した起業セミナー、インターンシップ等の実践的なリカレント教育を実施



テーマ4. 地域のリカレント教育

2 リカレント教育参加者と3町における交流の推進

- 知的交流拠点において、リカレント教育参加者と大学・スタートアップ関係者等との相互交流を促進
 - ・ 起業セミナーや交流イベントの開催
 - ・ スタートアップ起業等におけるインターンシップの推進
 - ・ 大学、高等技術専門学校におけるリカレント教育プログラム等の紹介 など

3 3町と県の合同の「就学前のはぐくみ」と「リカレント教育」に関する教育振興大綱の策定

- 3町の地域性・独自性を生かした就学前教育とリカレント教育のあり方について、県と3町で検討
- 取り組みの成果を県と3町で検証し、県内の他の自治体への周知・展開や県政への活用を図る